

1号議案 2002年度事業報告

1. 事業の成果

法人の設立年度でもあり、最も基本となる医療通訳の派遣・養成等について、かながわ外国籍県民医療通訳サービス支援モデル事業を中心に、事業を行うとともに、2003年度に向けて関係機関との連携の強化や活動資金獲得に向けても取り組みを行ってきた。

2. 事業の概要

1) かながわ外国籍県民医療通訳サービス支援モデル事業

協力病院（6病院）からの通訳派遣の依頼にもとづき、コーディネーターが登録医療通訳スタッフと連絡を取り派遣した。かながわ県民センター「県民の声・相談室」のブースにてコーディネーターが月～金曜日、9～12時/13～16時、当番制でコーディネート業務に就いた。

①言語別実績

	8	9	10	11	12	1	2	3	計
スペイン語	25	43	29	19	14	17	9	20	176
ポルトガル語	3	7	12	13	9	2	1	3	50
中国語	7	2	4	2	3	8	1	3	30
タガログ語	8	1	1	1	0	2	2	0	15
韓国語	7	2	1	1	5	5	6	1	28

②病院別実績

	8	9	10	11	12	1	2	3	計
東海大学病院	17	26	10	13	10	13	3	8	100
済生会神奈川県病院	20	15	20	8	14	12	7	5	101
太田総合病院	5	2	2	2	0	0	4	8	23
北里大学病院	5	6	2	2	0	5	3	3	26
海老名総合病院	2	6	12	6	6	4	2	2	40
社会保険横浜中央病院	1	0	1	5	1	0	3	1	12

③研修会等の実施

〔開始時の研修：7月17日(水)、医療スタッフ自主的勉強会：8月3日(土)・10月5日、^{にち}12月以降モデル事業説明会：12月20日(金)〕

④県医療通訳制度検討委員会への参加

2) 外国人のための無料健康相談会への通訳派遣等協力

港町診療所、神奈川県等の主催による健康相談会に通訳の派遣などの協力を行った。

- ①大和カトリック教会 9月8日(日)
- ②中華街・横濱華僑キリスト教会 10月27日(日)
- ③茅ヶ崎保健福祉事務所 11月10日(日)
- ④鶴見区役所 1月26日(日)
- ⑤泉区役所 3月2日(日)

3) 通訳・生活支援ボランティア入門講座の実施

県社協かながわボランティアセンターとの共催にて入門講座を開催。

①3月1日(土)

「外国籍県民に関わる社会制度～制度、在留資格等など」

講師：大川昭博（寿生活館）

「外国籍住民の”生活支援”の整理」

講師：松永文和（かながわボランティアセンター）

②3月8日(土)

「ひととはどのように接してほしいか、接されるべきか

～外国人、日本人そしてわたし～」

講師：鶴田光子（静岡英和学院大学 地域福祉学科助教授）

③3月29日(土)

「異文化適応、異文化コミュニケーションの視点からとらえなおす外国人支援のあり方」講師：手塚千鶴子（慶応義塾大学国際センター助教授）

4) 翻訳

自治体国際化協会(CLAIR) 在住外国人のための医療ガイドブック（生活ガイド医療編）・住宅ガイドブック全国汎用版(HP化)の翻訳作業

5) 調査活動

①医療通訳者へのアンケート調査実施 2002年7月実施（9月集計）

回答数 18名。

質問項目：言語・地域別対応件数、依頼経路、交通費負担、謝礼の有無、研修会、勉強会の希望内容、通訳するときに気をつけていること、困ったことなどについて

②医療通訳派遣に関するアンケート調査実施 10月中旬～下旬

東京大学医学部若井研究室からの依頼を受け、全国の外国人支援NGO、NPO

等団体に医療通訳の派遣について、既刊の書籍や資料などに連絡先が掲載されている団体などを主な調査対象に電話調査を行った。

③横浜市立病院に於ける医療通訳に関するアンケート実施 11月～12月

横浜市立港湾病院、横浜市立市民病院、横浜市立脳血管医療センター、横浜市立大学医学部附属病院、横浜市立大学医学部附属市民総合医療センターのMSWより回答。調査内容は、言葉の点で困った場面や、通訳依頼先、依頼時の費用負担、通訳を利用した感想、医療通訳の必要性など

6) 情報提供

①ニュースレターの発行

2002年7月より郵送やEmailで会員等にニュースレターを9回発行。

②医療通訳メーリングリスト運営

医療通訳のネットワークづくりに向けたメーリングリスト作成し、情報交換を行った。

7) 他機関への協力

①さがみはら国際交流ラウンジ学習会「医療英語」へ講師派遣 6月22日(土)

②神奈川県消防学校救急隊員教育訓練事業外国語講座へ講師派遣

7月15日(月)(英語・中国語・スペイン語)

③かながわボランティアセンター主催「かながわ外国人医療フォーラム2002 -外国人医療のあしたにむかって」-7月20日(土)

企画段階から事務局や理事が協力したほか、沢田貴志理事が講師、松野副理事長がコーディネーターとしても協力

④自治体国際化協会(CLAIR) 多言語医療マニュアル(生活ガイド医療編)

全国汎用版(HP化)作成検討部会への委員派遣

(松野副理事長と松延事務局員) 7月19日(金)、11月7日(木)、

⑤横浜市国際交流協会「横浜・外国人無料相談会」への協力 7月21日(日)⑥横浜市消防局外国語救急電話対応ソフトのデモンストレーションオブザ

ーバー参加 7月29日(月)

⑦横須賀国際交流協会医療通訳ボランティア学習会 9月21日(土)

医療通訳に関する常識の整理・医療通訳のポイント・シミュレーションについて講師派遣。

⑧全社協主催、社会福祉トップセミナー「社会福祉の潮流 ソーシャルインクルージョンの具現化」へ北村理事長事例発表者として。

10月10日(木)~11日(金)

⑨厚生科学研究「HIV感染症の医療体制に関する研究班」医療通訳班会議へ参加 10月30・31日

⑩平成14年度地域国際化協会職員国内研修会課題別ワークショップ「在住外国人の医療問題について」進行役として北村理事長参加 12月5日(木)

⑪神奈川県消防学校「救急隊員教育訓練事業」講師派遣 1月23日(木)

⑫保見団地ラテンアメリカセンター「事例報告」へ北村理事長事例発表者として。2月22日(土)

⑬シンポジウム「さがみはらのまちづくり・今そしてこれから」松延事務局員がパネリストとして参加 2月23日(日)

⑭京都国際交流団体連絡協議会「医療に関する『ことば』のサポートについて考える勉強会」北村理事長が先行事例報告者として出席 3月2日(日)

8) 助成金等申請

①NPO法人イーパーツ ヒアリング(中古PC寄贈審査) ノートPC3台寄贈

②NHKわかば基金申請:対象外

- ③ファイザープログラム「心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援」申請：対象外
- ④ボランティア活動基金 21 負担金：平成 15 年度対象団体に（10,000,000 円）。
- ⑤横浜市国際交流基金：平成 15 年度助成決定（1,000,000 円）